

第4期 奈良県がん対策推進計画 概要

基本理念

がんにならない、がんになっても安心できる 奈良県

全体目標

- 1 県民ががんにならない、がんではなくなる
(がんではなくなる県、日本一)
- 2 すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる
- 3 すべての県民ががんを正しく知り、がんと向き合い、地域共生社会の中で自分らしく生きられる

分野別施策

がん予防

<めざす姿>
がん罹患率が減少している
がんに関する正しい知識を持っている

- ・たばこ対策の充実
- ・健康的な生活習慣の普及
- ・感染症予防の充実

がん医療の充実

<めざす姿>
がん患者が安全かつ安心な質の高い医療を受けられる
がん患者が納得した治療を選択できている

- ・がん医療提供体制の充実・がん医療の質の向上(小児・AYA世代や高齢者等のがん医療の連携促進)
- ・患者目線でのがん診療情報の提供

相談支援及び情報提供

<めざす姿>
がん患者の不安や悩みが相談支援により軽減されている

- ・相談支援機能の強化(小児・AYA世代、高齢者)
- ・患者目線での情報提供の充実

がんの早期発見

<めざす姿>
がんが早期の段階で発見されている
がんが早期の段階で診断されている

- ・がん検診の受診促進
- ・がん検診精度管理の充実

がんと診断された時からの緩和ケア

<めざす姿>
がん患者の身体的、精神的、社会的苦痛が軽減されている

- ・緩和ケア提供体制の充実
- ・緩和ケアの理解促進と情報提供

がん患者等の社会的な問題への対策

<めざす姿>
がん患者の抱える社会的苦痛が軽減されている

- ・がん患者の治療と仕事や学業の両立支援体制の整備
- ・その他ライフステージに応じた社会的な問題(アピアランスケア・妊孕性温存療法等)への支援

地域連携

<めざす姿>
がん患者が居住する地域にかかわらず質の高い医療を受け、望む場所で療養生活を送ることができる

- ・拠点病院等・支援病院の地域連携体制の充実
- ・在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実
- ・在宅療養生活に関する情報提供

これらを支える基盤整備

がん登録

<めざす姿>
がん登録データの精度が向上し、データが有効活用されている
地域でがん登録データが活用しやすい体制が整備されている
がん登録に基づいた適切な情報を得ることができている

- ・がん登録の精度向上
- ・がん登録データ等を活用したがん対策の検討・実施
- ・データを活用した情報提供等

がん教育・知識の普及啓発

<めざす姿>
がんに関する知識が向上する

- ・中学校・高等学校におけるがん教育の充実・推進
- ・小学校(高学年)におけるがん教育の推進
- ・がん対策全般に関する普及啓発の推進

第4期奈良県がん対策推進計画の推進体制

